景観形成基準チェックシート（工作物の建設等）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 景観形成基準 | 措置又は配慮の内容 | ※適否 |
| 配置 | □敷地における工作物の位置は、街なみの連続性や一体性に配慮し、道路からの壁面や軒先の位置を揃えるなど、周辺建築物と調和のとれた配置に努める。 |  |  |
| □道路から大きく後退して配置する場合は、街なみの連続性の確保に向け、塀や生垣等を施すなどの工夫に努める。 |  |  |
| 高さ・規模 | □周辺の景観に威圧感や圧迫感を与えない高さに努める。 |  |  |
| 形態・意匠 | □建築物とまとまりのある形態意匠に努める。 |  |  |
| 色彩 | □周辺景観と調和した落ち着いた色彩を基調とする。 |  |  |
| □明度が極端に低い（暗すぎる）または高い（明るすぎる）色彩、及び彩度が極端に高い（派手すぎる、鮮やか過ぎる）色彩は極力避ける。 |  |  |
| 外構・緑化 | □街なみの連続性や一体性に向け、敷地内には適度な緑の確保に努める。 |  |  |

備考

１　該当又は適用する景観形成基準の内容の□に✓を入れてください。また、該当しない又は適用されない欄はその旨を記入してください。

２　「措置又は配慮の内容」については、できる限り具体的に記述してください。

３　※適否欄は記入しないでください。